

議員氏名：野地 洋正

議案番号：陳情第2号、陳情第3号（一括討論）

案 件 名：2024 年度介護報酬改定における、訪問介護の本体報酬単価引き下げに対する対応策を直ちに講じることを求める陳情書、
訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出についての陳情

討論内容：

陳情第2号に「賛成」、陳情第3号」には委員長報告・原案ともに反対、意見書に賛成の立場で討論します。

まず、訪問介護報酬引き下げにより、訪問介護従事者の賃金が下がることはなく、ベースアップは行われるとのことで安心していきます。

今回引き下げに至った理由は、「訪問介護事業は、全介護サービス事業の中でも、平均を大きく上回る高い収支差率であり、他の制度との整合性を図るために実施された」とのことです。

ではなぜ陳情が出されたか、ということとなりますが、審査を傍聴する中で、単に訪問介護報酬を上げる下げるの問題ではなく、上げてても下げてても解決はされず「訪問介護事業者間での格差は生じ続ける」と理解しました。

そのため、現規定の中で介護報酬を上げてても、さらなる収支格差を招き、利益が高い事業所は、現在問題視されている紹介料にも、さらに多額の費用を掛けることもでき、従事者の獲得は容易となり、その反面、利益の低い事業所はその影響を受け、従事者の人手不足はますます悪化するなど、廃業に陥る可能性もあります。

まずは、訪問介護事業における事業所間格差を是正すべきです。

したがって、陳情第2号の項目①引き下げをまずは撤回し、②地域や事業規模を考慮したうえで決め、③その上で必要な事業所には救済する。と的を射ており賛成。「介護報酬の引き上げを求める」とする陳情第3号には反対。なお、意見書は第2号の陳情項目であり賛成。 以上